I-O DATA

18.1インチ
アナログTFT液晶ディスプレイ

LCD-A18H

取扱説明書

83724-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
   したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
   国外に持ち出す場合には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
11) お客様は、本製品を一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
12) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows,MS及びMS-DOSは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

LCD-A18H 取扱説明書
2000.Nov.10　83724-01
発　行　　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2000 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

ここにＶｅｒシールをお貼りください。

Ｖｅｒシール

取り扱い上の注意

■警告及び注意表示

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告


電源プラグを抜く

異常な熱さ、煙、異常音、異臭が発生したらすぐに使用を中止してください。

万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。


分解禁止

修理・改造・分解はしないでください

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社サポートセンターにご依頼ください。分解・改造した場合は保証期間であっても有償修理となる場合があります。


禁止

通気孔をふがないでください

通気孔は内部の温度上昇を防ぐものです。物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、火災や故障の原因になります。


強制

装置内部へ異物をいれないでください

内部に金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。


感電注意

ケースカバーの取り外し

ケースカバーを取り外さないでください。内部には高電圧部分が数多くあり、万一触ると危険です。



ディスプレイケーブルの扱いにはご注意ください

ディスプレイケーブルは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、ディスプレイケーブルが傷み、火災や感電の原因になります。

- ものをのせない
- 引っ張らない
- 折り曲げない
- 押しつけない
- 加工しない
- 熱器具のそばで使わない



電源プラグの抜き差し

- 電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行ってください。電源コードを引っ張ると一部が断線し、火災の原因になります。
- 電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。



電源プラグなどの接触不良

電源プラグはほこりが付着していないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。接触不良で火災の原因になります。



落下などによる衝撃

落下させたり、ぶつけるなどの衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。また、表示面のガラスや内部の FL 管が破損したり、故障の原因となります。



液晶パネルの表示面から、漏れた液体（液晶）には触れないでください。

誤って液晶パネルの表示面を破壊し、中の液体（液晶）が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないようにしてください。万が一、液晶が目や口に入った場合は、すぐに水で 5 分以上洗い、医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣服に液晶が付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。そのまま放置すると、皮膚や衣服を傷めるおそれがあります。



温度差のある場所への移動

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。使用する場所で電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。



アルミ電解コンデンサーについて

装置内部の表示制御基板などに表示されている電解コンデンサーは、寿命部品です。寿命時間（延べ使用可能期間：約５年）以上使用される場合には、表示制御基板を交換してください。電解液の漏れや枯渇により、火災や感電の原因になります。また、装置の故障の原因にもなります。

⚠ 注意


電源プラグを抜く

金属など端面への接触

パソコンの移動などで金属やプラスチック部分に万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。また、すぐに電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。


強制

ディスプレイケーブルについて

- ケーブルは足などに引っ掛けないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがや接続機器の故障の原因になります。
- ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接触不良などの原因になります。


強制

眼精疲労について

ディスプレイを見る作業を続けるときは、作業場を 300～1000 ルクスの明るさにしてください。また、連続作業をするときは、1 時間に 10 分から 15 分程度の休憩をとってください。長時間ディスプレイを見続けると、眼に疲労が蓄積されます。


強制

電波障害について

ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- テレビやラジオのアンテナの向きを変える。
- コンセントを別にする。


強制

本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく製品です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。


禁止

本製品(ソフトウェアも含む)は日本国内仕様です

国外では使用しないでください。国外で使用した場合、弊社は一切責任を負いかねます。


禁止

本製品は下記のような場所で使用しないでください

故障の原因になります。

- 水分や湿気の多い場所
- ほこりの多い場所
- 振動や衝撃の加わる場所
- 通気孔がふさがる場所
- 温度差の激しい場所
- 不安定な場所

お取り扱い

画面の焼き付きを防ぐために

同じ画面を長時間表示させていると画面の焼き付きを起こすことがあります。焼き付きを防ぐために次のことを行ってください。

- パソコンやディスプレイを使用しないときは電源を切ってください。
- なるべく、省電力機能またはスクリーンセーバー機能をご使用ください。

ディスプレイの設置場所

- 風通しの良い所へ設置してください。
  内部の温度上昇を防ぐため、通気孔をふさがないでください。
- 高温にならない場所へ設置してください。
  直射日光のあたる場所、ストーブのような熱器具の近くに置くと、故障の原因になります。
- 屋内に設置してください。
  屋外で使用できる構造にはなっていないので、故障の原因になります。
- 腐食性ガスの発生しない所、振動のない場所に設置してください。
  油煙や腐食性ガスの発生場所、振動が継続する場所に置くと、故障の原因になります。

お手入れのために

- 表示面が汚れた場合は、脱脂綿か柔らかいきれいな布で軽く拭くか、拭く前に軽く息を表示面に吹きかけてから拭き取ってください。
- 表示面以外の汚れは、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く絞ってから、軽く拭いてください。ベンジンやシンナーなどの溶剤は避けてください。
- 表示面に水滴などをつけたまま放置しないでください。水滴などがついた場合はすぐに脱脂綿や柔らかい布などで拭き取ってください。放置しておくと表示面が変色したり、シミの原因となります。また、水分が内部へ侵入すると故障の原因となります。

廃棄について

本製品内のバックライトの中には水銀が含まれています。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本製品を捨てないでください。ディスプレイの廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則にしたがってください。

バックライトについて

● 本製品に使用しているバックライトには寿命があります。（延べ使用可能時間：約30,000時間）画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用のバックライトユニットへの交換が必要です。
※ご自分での交換は絶対にしないでください。交換等につきましては、弊社サポートセンターへお問い合わせください。
※バックライトは消耗品ですので、保証の対象にはなりません。

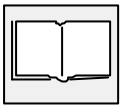
・バックライトの寿命は目安です。多少異なることもございますので、予めご了承ください。

そのほか

● ご使用にならないときは、ほこりが入らないようカバーなどをかけてください。
● 表示部の周囲を押さえたり、その部分に過度の負担がかかる状態で持ち運んだりしないでください。ディスプレイ部が破損するおそれがあります。
● ディスプレイ部の表面は傷つきやすいので、工具や鉛筆、ボールペンなどの固いもので押したり、叩いたり、こすったりしないでください。
● 液晶ディスプレイに表示中、表示面上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある場合があります。これは、液晶パネル自体が99.99%以上の有効画素と0.01%の画素欠けや輝点をもつことによるものです。故障あるいは初期不良ではありません。予めご了承ください。
● 本製品の取り付けや取り外しのときは、必ず、パソコン本体および周辺機器の電源を切ってから行ってください。
● 本製品の内部の点検・調整・修理は弊社修理係にご依頼ください。送付先は巻末を参照してください。

・液晶パネルは非常に高価です。有償による液晶パネルの交換は高額になることを予めご了承ください。

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。



お読みになる前に

● 呼び方

ここでは、本書内で呼ばれている言葉の意味について説明しています。

呼び方	意　味
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating Systemおよび Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Editionの総称
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows Me/98/95	Windows Me、Windows 98、およびWindows 95の総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional
Windows	Windows Me、Windows 98、Windows 95およびWindows 2000の総称
Mac OS	Mac OS 8.5.1以降

目次

取り扱い上の注意 i
お読みになる前に viii
目次 ix

はじめに

特徴 2
箱の中には 3
動作環境 5
ユーザー登録しよう 6
実行用ディスクを作ろう 7

取り付けよう

各部の名称と機能 １０
取り付けよう １２
取り付けは終了しました １９

Windows Me/98/95でご使用の場合

インストールしよう ２２
確認しよう ３７

Windows 2000でご使用の場合

インストールしよう ４０
確認しよう ４５

目次

表示を調整するには

調整方法と調整可能項目 48
調整項目一覧 52

付録

困った時には 58
用語解説 61
省電力モードにする 63
ハードウェア仕様 66

サポートセンターへのお問い合わせ 69
保証について 70
サポートソフトのバージョンアップ 71
修理について 72

はじめに

ここではまず箱を開けてから、作業に取り掛かるまでについて説明します。

特徴（2ページ）

本製品の特徴について説明します。

↓

箱の中には（3ページ）

本製品内にどんな物が入っているか説明します。

↓

動作環境（5ページ）

本製品が動作する環境について説明します。

↓

ユーザー登録しよう（6ページ）

ユーザー登録の方法について説明します。

↓

実行用ディスクを作ろう（7ページ）

本製品のサポートソフトをバックアップする方法を説明します。（Windowsでご使用になる場合のみ）

特徴

本製品は、以下のような特徴を持っています。

● 18.1インチの大画面

表示面積359㎜×287.2㎜で1280×1024ドットの表示が可能です。

● 省スペース

CRTディスプレイに比べ、限られたスペースを有効に活用できます。

● パワーセーブ機能を搭載

水平同期信号、垂直同期信号のどちらか一方、もしくは両方が無くなると自動的にスタンバイモードになり、消費電力を抑えます。

● 接続が簡単

アナログ接続のため、グラフィックボードを交換する必要がなく、付属のケーブルを接続するだけですぐに使用できます。

ただし、Power Macintoshをお使いの場合は、RGB接続ケーブルとの接続用に別途市販のMacintosh専用変換コネクタ※（D-sub 15ﾋﾟﾝ(ﾒｽ)⇔専用D-sub 15ﾋﾟﾝ(ｵｽ)）が必要です。

※ セパレートシンクで使用してください。

● VESA規格の固定器具に対応

VESA規格に準拠したアームや壁掛けなどの固定器具に対応しました。省スペース性を最大限に生かすことができます。

※ アームや壁掛け用の固定器具は別途ご用意ください。

● 低消費電力（最大65W）

同等画面サイズのCRTディスプレイに比べ、省電力です。

発熱量もはるかに少なくなっています。

● アナログRGB2入力搭載

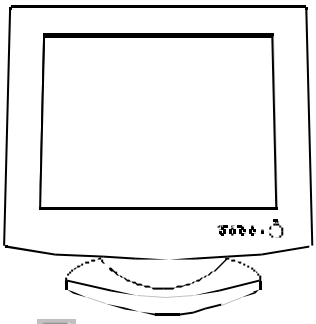
2台のパソコンを接続し、表示を切り替えて使用することができます。

● USB出力4ポート搭載

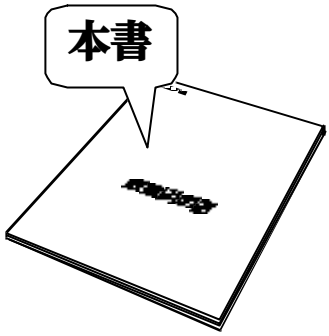
4台のUSB機器を接続できます。

箱の中には

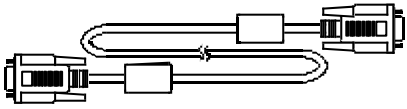
箱の中には以下のものが入っています。
☐にチェックをつけながら、ご確認ください。



☐ **液晶ディスプレイ**
（LCD-A18H）



☑ **LCD-A18H取扱説明書**



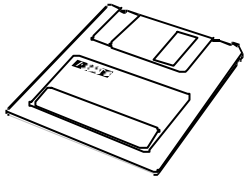
☐ **RGB接続ケーブル**
（1.5m）



☐ **電源ケーブル**
（1.8m）

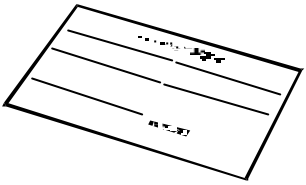


☐ **USBケーブル**
（1.8m）



☐ **LCD-A18Hサポートソフト**
（3.5インチ2HD（1.44MB））

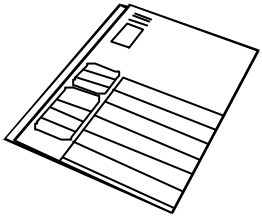
箱の中には



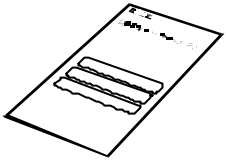
☐ **ハードウェア保証書**



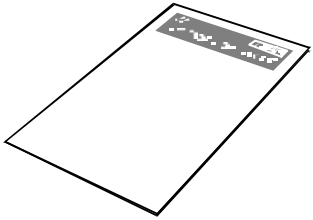
☐ **ハードウェアシリアルNo.シール**



☐ **ユーザー登録カード**



☐ **Verシール**



☐ **『安全で快適にお使いいただくために』**

万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

お願い：箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

動作環境

●対応機種

アナログRGB出力を持つ以下のパソコン

・NEC PC98-NXシリーズ
・DOS/Vマシン※
・NEC PC-9821シリーズ
・Power Macintoshシリーズ

※ 弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っています。

USB ハブ機能は、以下のOS でのみ使用可能です
・Windows Me
・Windows 98（SE含む）
・Windows 2000
・Mac OS 8.5.1以降

ユーザー登録しよう

1 添付のVerシールを、ユーザー登録カード、サポートソフトウェアディスク、本書の巻末の「Verシール」と書かれている部分に貼ってください。

2 添付のハードウェアシリアルNo.シールを、ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。

3 **●オンライン登録する場合 (http://www.iodata.co.jp/regist)**

インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録を行ってください。

I-O DATA ホームページに「オンライン・ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の案内が表示されますので、画面の表示にしたがって必要事項を記入して、ユーザー登録を行ってください。

オンライン・ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

●ハガキで登録する場合

ユーザー登録カードに、必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。

・弊社では、サポートセンターでソフトウェアのバージョンアップサービスなどを行っておりますが、これらのサービスはユーザー登録を行った方のみが対象となります。お買い上げいただいた製品ごとに必ず登録を行ってください。
・ユーザー登録カードによる登録の場合、必要事項のご記入もれや必要なシールの貼り忘れがあった場合は、ユーザー登録できません。必ずご確認ください。

実行用ディスクを作ろう

本製品に添付されているサポートソフトは、**Windowsをご使用の方のみ必要です。**
Windowsをご使用の場合は必ず以下の方法でバックアップを取り、バックアップディスクの方を実行用ディスクとしてご使用ください。
（以下の例は、フロッピーディスクドライブがAドライブの場合です。）

1 フォーマット済みの空きフロッピーディスクを用意します。

空きフロッピーディスクは「3.5インチ2HD：1.44MB」を用意します。

2 サポートソフトを書き込み禁止にします。

3 ディスクのコピーを行います。

[マイコンピュータ]の[3.5インチ FD]を右クリックし[ディスクのコピー]を選択します。



4 メッセージにしたがって、バックアップを取ります。

サポートソフトと空きフロッピーディスクをメッセージにしたがって入れ替えながら、バックアップを取ります。

サポートソフトを破損した場合の修理は有償です。
必ず本手順を行い、サポートソフトは大切に保管しましょう。

MEMO

取り付けよう

ここでは本製品の各部の名称、機能、およびパソコンに取り付ける方法について説明します。

各部の名称と機能（10ページ）

本製品の各部分の名称とその機能について説明します。

↓

取り付けよう（12ページ）

本製品をパソコンに接続します。

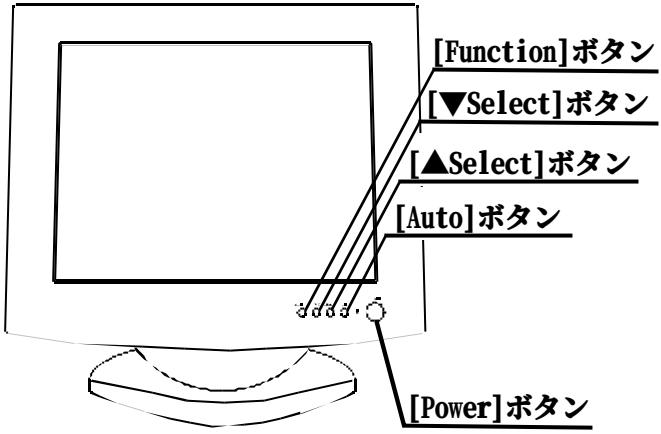
↓

取り付けは終了しました（19ページ）

Windowsをご使用の場合は、さらに作業が必要です。
Windows以外のOSでご使用の場合はそのままご使用いただけます。

各部の名称と機能

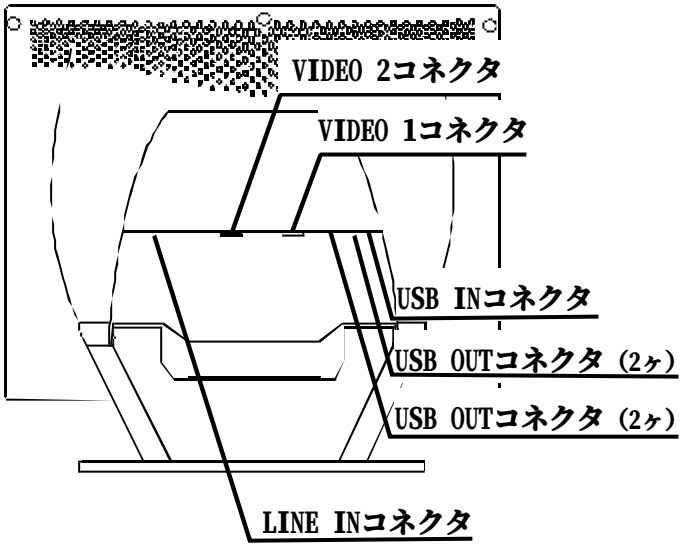
正面



ボタン	機能	
Function	・画像調整メニューを表示します。 ・画像調整メニュー上では、調整項目を決定します。	表示調整や、表示画像の切り替えに使用します。 （OSD※が表示されます。） ※OSD（On Screen Display）とは、液晶ディスプレイ自体が、画面上に表示するグラフィックのことです。本製品では各設定内容等を表示します。
▼Select	・パソコンを2台接続している場合に表示する方を設定します。 ・画像調整メニューの選択項目を選択します。（下の選択項目に移動） ・調整中は値を減らします。	
▲Select	・画像調整メニューの選択項目を選択します。（上の選択項目に移動） ・調整中は値を増やします。	
Auto	画像調整を自動で行います。	
Power	電源のON/OFFを行います。 （動作時は左横のランプが緑色に、省電力モード時はオレンジ色に点灯します。）	

背面

図はカバーを外した状態です。各コネクタはカバーの下にあります。
カーバーを外す際は次ページをご参照ください。



コネクタ	機能	
LINE IN	付属の電源ケーブルを接続します。	
VIDEO 1	パソコンのRGB出力と接続します。	両方接続する場合は、RGB接続ケーブルをもう一本※ご用意ください。
VIDEO 2	パソコンのRGB出力と接続します。	※ RGB接続ケーブルをお求めの際は、あらかじめ14ページをご覧ください。
USB OUT	USB機器を4台まで接続できます。	
USB IN	付属のUSBケーブルで、パソコンのUSBコネクタと接続します。	

取り付けよう

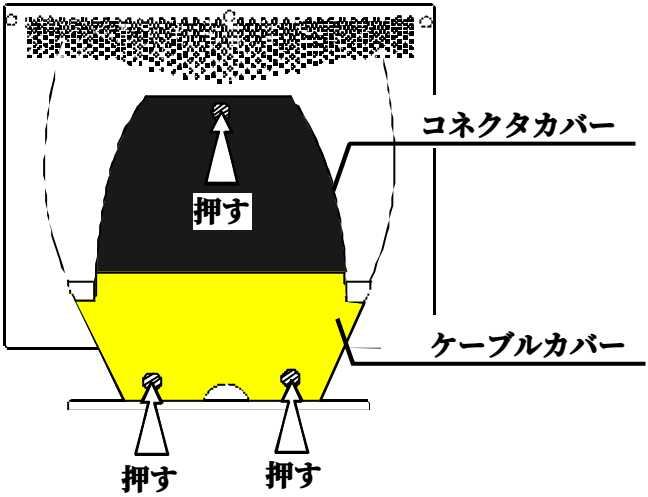
11ページ【背面】や16ページ【接続図】を参照しながら取り付けてください。
はじめに背面のカバーを外し、その後ご希望の用途にあった接続を行ってください。
接続が完了したら、最後にカバーを元に戻します。

はじめにカバーを外します

液晶ディスプレイ背面に、コネクタカバーとケーブルカバーの2つが上下に取り付けてあります。両方とも外し、ケーブルが接続できる状態にします。

カバーの丸くくぼんだ箇所を指で押します。

カチッと音がして外れます。カバーは1枚ずつ外します。



カバーは、丸くくぼんだ箇所を押すと、簡単にはずれます。床などに落として破損しないように気をつけてください。

パソコンを1台のみ接続

本製品をパソコン用ディスプレイとしてご使用になるには、下記の接続作業が必要です。
パソコンを2台接続したい場合は、次ページ【パソコンを2台接続】を参照してください。

1 液晶ディスプレイ背面のLINE INコネクタに付属の電源ケーブルを接続します。

2 液晶ディスプレイ背面のVIDEO 1コネクタに付属のRGB接続ケーブルを接続します。

コネクタの左右についているネジは最後まできちんと締めてください。

3 RGB接続ケーブルのもう一方をパソコンのRGB出力に接続します。

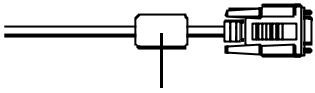
コネクタの左右についているネジは最後まできちんと締めてください。
パソコンのRGB出力コネクタの位置は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
Power Macintoshをお使いの場合は、市販の専用変換コネクタが必要です。

4 電源ケーブルのもう一方をコンセントに接続します。

パソコンを2台接続

パソコンを2台接続し、表示を切り替えて使いたい場合に行います。

・パソコンを2台接続する場合は、RGB接続ケーブルが2本必要です。付属のものの他に、もう1本をあらかじめお求めください。
・RGB接続ケーブルを別途お求めになる際は、取り付けたときに、フェライトコア部分が、液晶ディスプレイの突起部分や、カバーなどとぶつからないものをお選びください。



フェライトコア

1 液晶ディスプレイ背面のLINE INコネクタに付属の電源ケーブルを接続します。

2 液晶ディスプレイ背面のVIDEO 1、VIDEO 2コネクタにRGB接続ケーブルを接続します。

コネクタの左右についているネジは最後まできちんと締めてください。

RGB接続ケーブルは付属のものと、用意したものを使います。

3 各RGB接続ケーブルのもう一方を各パソコンのRGB出力に接続します。

コネクタの左右についているネジは最後まできちんと締めてください。

パソコンのRGB出力コネクタの位置は、各パソコンの取扱説明書を参照してください。

Power Macintoshをお使いの場合は、市販の専用変換コネクタが必要です。

4　電源ケーブルのもう一方をコンセントに接続します

表示を切り替えたい場合は、▼Selectボタンを押します。押すたびにVIDEO 1コネクタとVIDEO 2コネクタに接続されたパソコンの表示が切り替わります。
OSDメニューで切り替えることもできます。（52ページ参照）

USB機器を接続

本製品にUSB機器を接続する場合に行います。

1　液晶ディスプレイ背面のUSB INコネクタに付属のUSBケーブルを接続します。

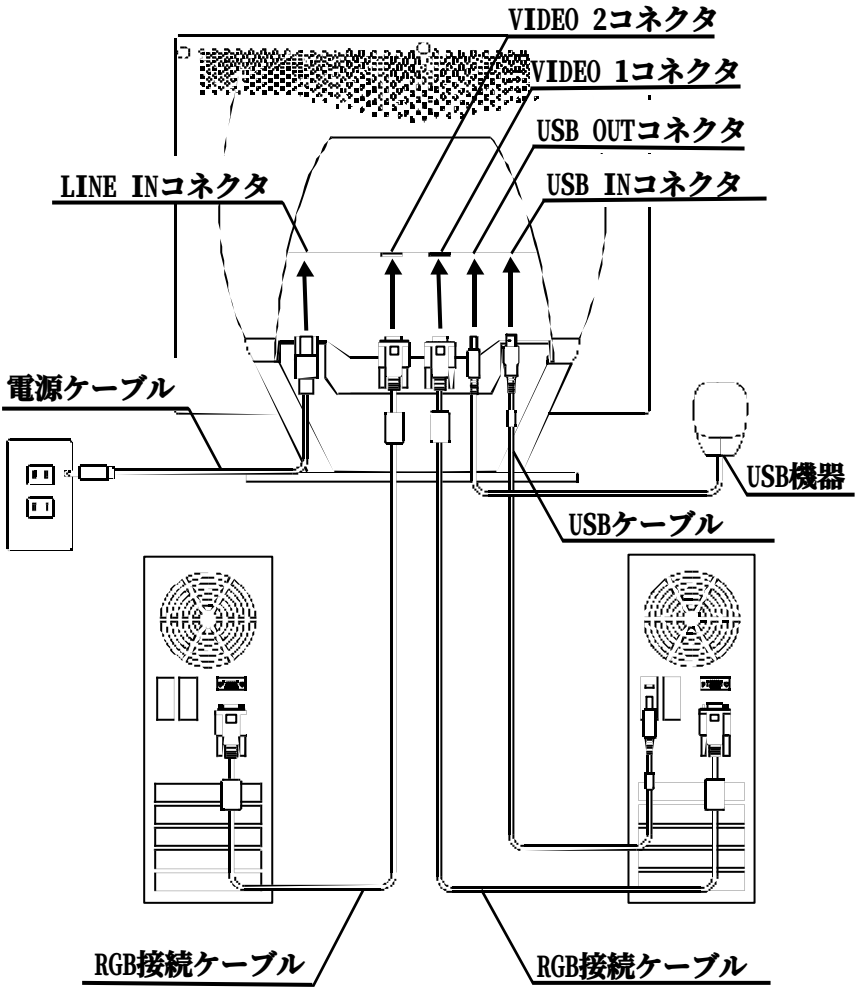
2　USBケーブルのもう一方をパソコンのUSBコネクタに接続します。

パソコンのUSBコネクタの位置は、パソコンの取扱説明書を参照してください。

3　液晶ディスプレイ背面のUSB OUTコネクタにUSB機器を接続します。

USB OUTコネクタは4つありますので、USB機器は4台まで接続できます。

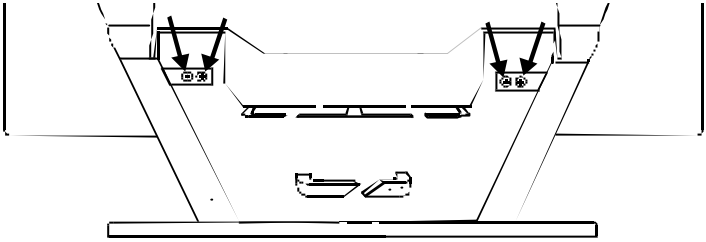
▼ 接続図


VIDEO 2コネクタ
VIDEO 1コネクタ
USB OUTコネクタ
LINE INコネクタ
USB INコネクタ
電源ケーブル
USB機器
USBケーブル
RGB接続ケーブル
RGB接続ケーブル

固定器具を取り替える

台座部分を、VESA規格に準拠したアームや、壁掛けなどの固定器具と取り替える場合に行います。あらかじめ固定器具を用意し、ケーブル類は全て外した状態で取り替えてください。

1 背面のボルト4個（下図参照）を外します。



ボルトを外す際、液晶ディスプレイを床等に落とさないよう十分ご注意ください。

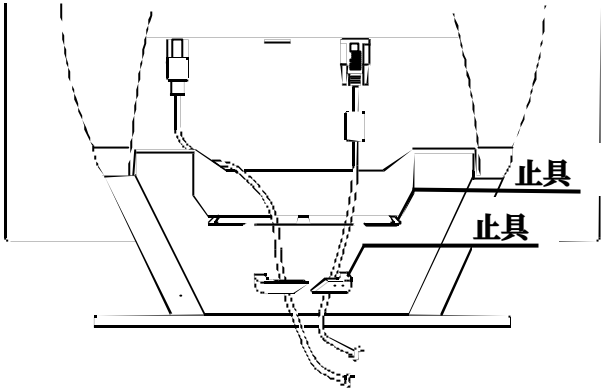
2 用意した固定器具を取り付けます。

固定器具の取扱説明書をお読みいただき、正しく取り付けてください。

最後にカバーを取り付けます

1　各ケーブルを上下2ヵ所の止具に固定します。

止具の中を通し、ふらつかないようにします。



2　カバーをあてて、くぼみを押します。

カチッと音がして固定されます。1枚ずつ取り付けてください。

> カバーを取り付ける際は、ケーブルや指を挟まないように気をつけてください。

取り付けは終了しました

ご使用になるOSにあわせて必要な箇所をお読みください。

Windows Me/98/95を ご使用の場合

【Windows Me/98/95でご使用の場合】（21ページ）をお読みください。

Windows 2000を ご使用の場合

【Windows 2000でご使用の場合】（39ページ）をお読みください。

Windows Me/98/95/2000 以外をご使用の場合

これ以上の作業はありません。
そのまま本製品をお使いいただけます。
表示に異常がある場合は、【表示を調整するには】（47ページ）をご参照ください。

MEMO

Windows Me/98/95でご使用の場合

ここでは本製品をWindows Me/98/95で使用する際の方法を説明します。

本製品をWindows Me/98/95以外のOSで使用する場合は、本章をお読みになる必要はありません。

インストールしよう（22ページ）

インストール手順について説明します。

↓

確認しよう（37ページ）

インストールおよび接続が正常かどうか確認します。

インストールしよう

ここではサポートソフトをインストールする手順を説明します。
手順はOS、およびOSのバージョンによって異なりますので、それぞれに合った部分をお読みください。

Windows Meの場合 → 23ページ

Windows 98の場合 → 27ページ

Windows 95 4.00.950/4.00.950aの場合 → 31ページ

Windows 95 4.00.950 B/4.00.950 Cの場合 → 34ページ

▼ Windows 95のバージョンを確認

① ［マイコンピュータ］を右クリックし、表示された[プロパティ]をクリックします。

② ［システムのプロパティ］画面に表示される番号がWindows 95のバージョンです。



Windows Meの場合

1 **Windows Meを起動します。**

本製品が自動的に認識されます。

2 **［ドライバの場所を指定する］をチェックし、[次へ］ボタンをクリックします。**

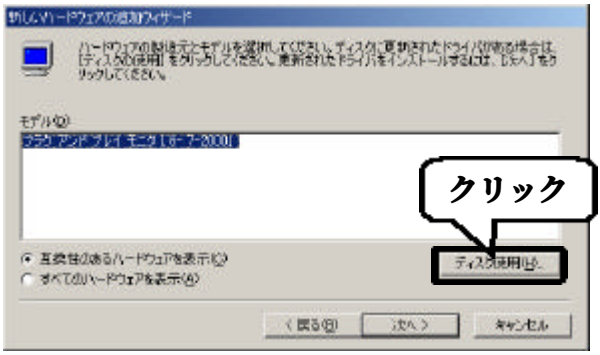


3 **[特定の場所にあるすべての･･･］をチェックし、[次へ］ボタンをクリックします。**



4　「LCD-A18Hサポートソフト」を挿入します。

5　［ディスク使用］ボタンをクリックします。



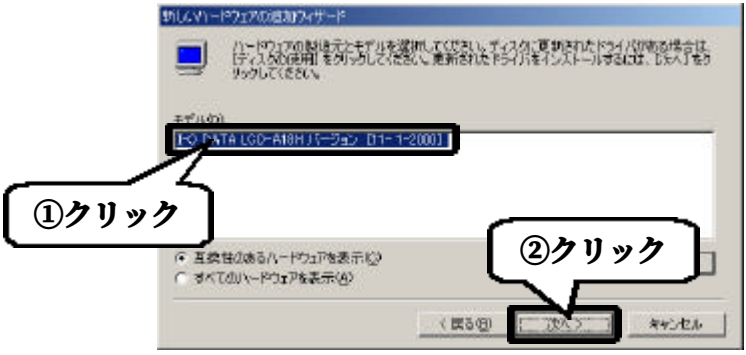
6　［製造元ファイルのコピー元］でフロッピーディスクドライブのWINMEフォルダを指定し、［OK］ボタンをクリックします。

指定例）　A:\WINME　（フロッピーディスクドライブがAの場合）

PC-9821シリーズの場合は、[参照]ボタンをクリックしてフロッピーディスクドライブ名とフォルダ名（WINME）を指定し、[OK]ボタンをクリックします。



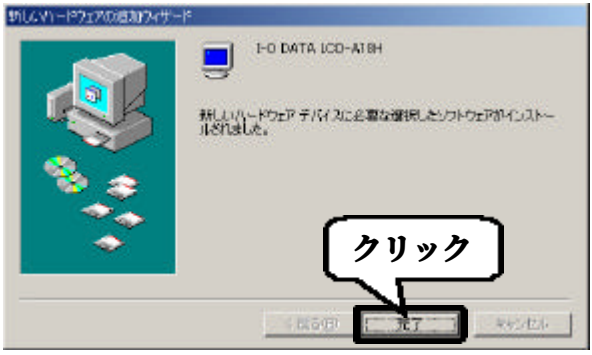
7　［I-O DATA LCD-A18H･･･］をクリックし、［次へ］ボタンをクリックします。



8　［次へ］ボタンをクリックします。



9　［完了］ボタンをクリックします。



以上でWindows Meのインストールは終了です。
【確認しよう】（37ページ）にお進みください。

Windows 98の場合

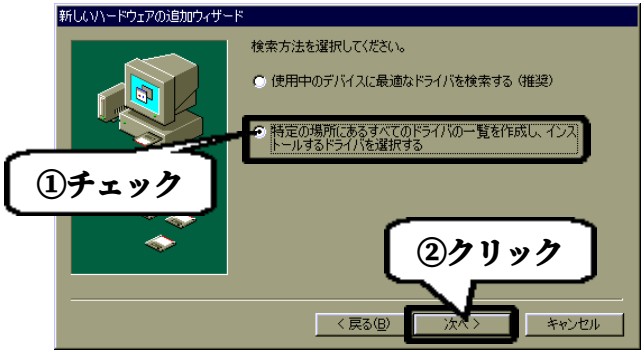
1 **Windows 98を起動します。**

本製品が自動的に認識されます。

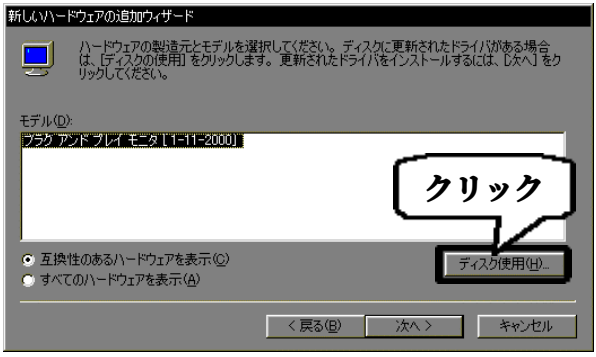
2 **［次へ］ボタンをクリックします。**



3 **［特定の場所にあるすべての･･･］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックします。**



4　［ディスク使用］ボタンをクリックします。

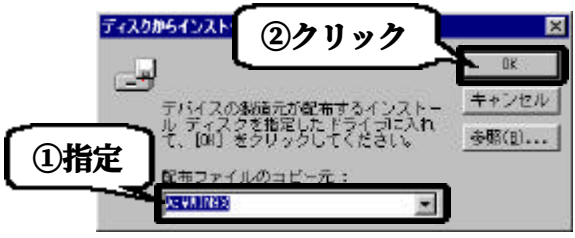


5　「LCD-A18Hサポートソフト」を挿入します。

6　［配布ファイルのコピー元］でフロッピーディスクドライブのWIN9Xフォルダを指定し、［OK］ボタンをクリックします。

指定例）A:\WIN9X　（フロッピーディスクドライブがAの場合）

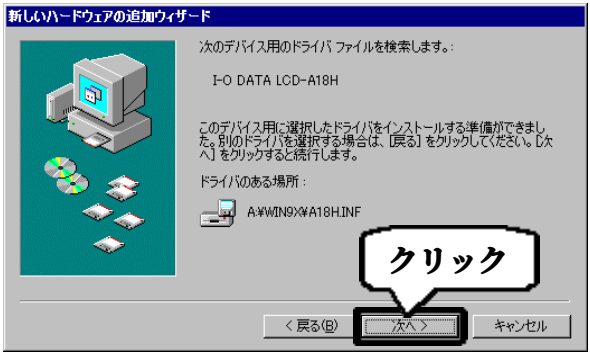
PC-9821シリーズの場合は、[参照]ボタンをクリックしてフロッピーディスクドライブ名とフォルダ名（WIN9X）を指定し、[OK]ボタンをクリックします。



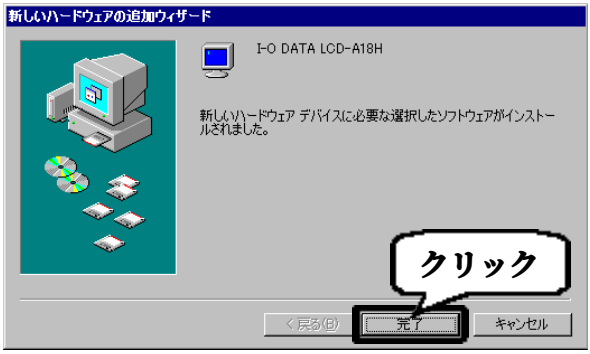
7 ［I-O DATA LCD-A18H］をクリックし、［次へ］ボタンをクリックします。



8 ［次へ］ボタンをクリックします。



9　［完了］ボタンをクリックします。



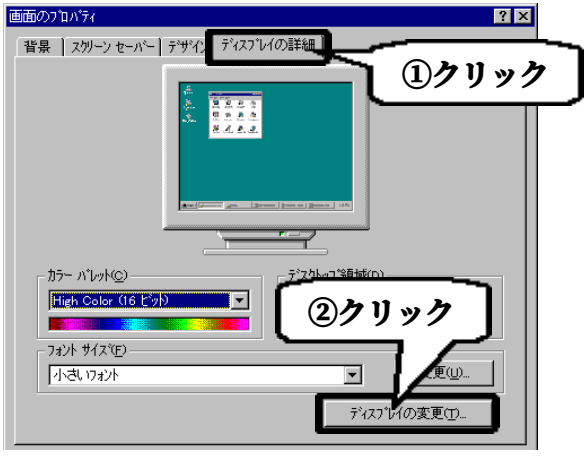
以上でWindows 98のインストールは終了です。
【確認しよう】（37ページ）にお進みください。

Windows 95 4.00.950/4.00.950aの場合

1 **［画面のプロパティ］を起動します。**

デスクトップ（壁紙部分）を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

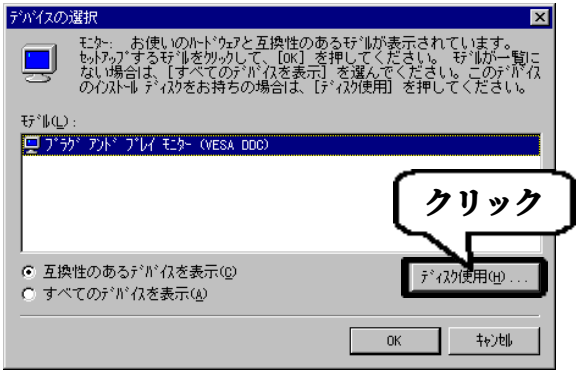
2 **［ディスプレイの詳細］タブをクリックし、［ディスプレイの変更］ボタンをクリックします。**



3 **[ディスプレイの種類]の［変更］ボタンをクリックします。**



4　［ディスク使用］ボタンをクリックします。

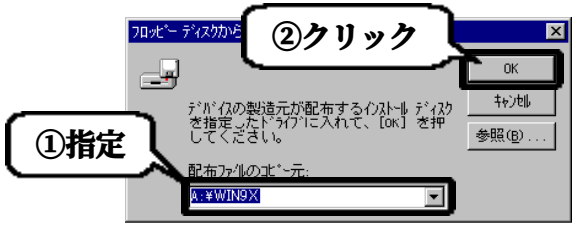


5　「LCD-A18Hサポートソフト」を挿入します。

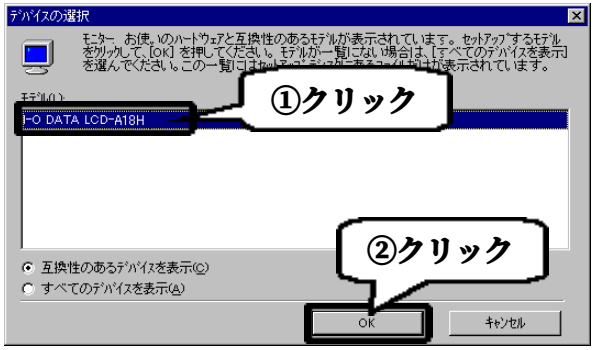
6　［配布ファイルのコピー元］でフロッピーディスクドライブのWIN9Xフォルダを指定し、［OK］ボタンをクリックします。

指定例）A:\WIN9X　（フロッピーディスクドライブがAの場合）

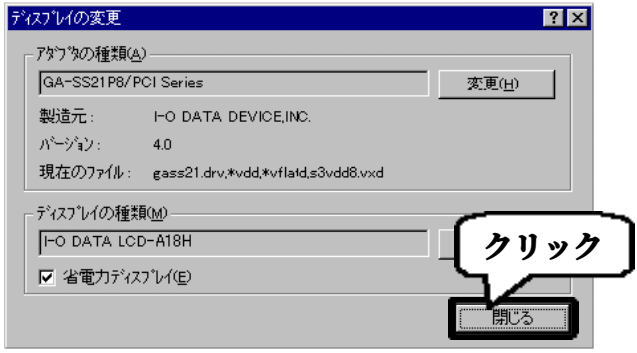
PC-9821シリーズの場合は、[参照]ボタンをクリックしてフロッピーディスクドライブ名とフォルダ名（WIN9X）を指定し、[OK]ボタンをクリックします。



7 ［I-O DATA LCD-A18H］をクリックし、［OK］ボタンをクリックします。



8 ［閉じる］ボタンをクリックします。



9 あとは画面の指示に従い、［OK］ボタンをクリックします。

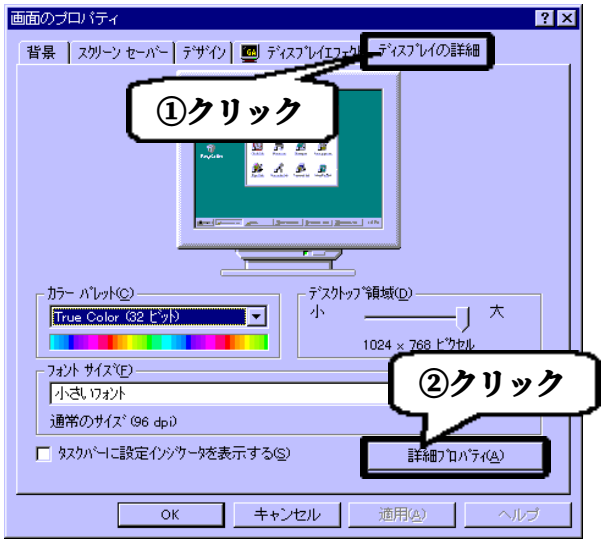
以上でWindows 95 4.00.950/4.00.950aのインストールは終了です。
【確認しよう】（37ページ）にお進みください。

Windows 95 4.00.950 B/4.00.950 Cの場合

1 **［画面のプロパティ］を起動します。**

デスクトップ（壁紙部分）を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

2 **［ディスプレイの詳細］タブをクリックし、［詳細プロパティ］ボタンをクリックします。**



3 **[モニター]タブをクリックし、［変更］ボタンをクリックします。**



4　［ディスク使用］ボタンをクリックします。

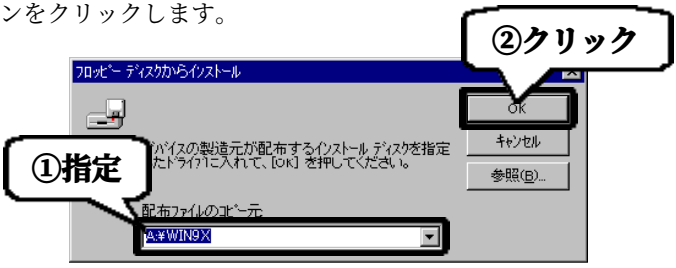


5　「LCD-A18Hサポートソフト」を挿入します。

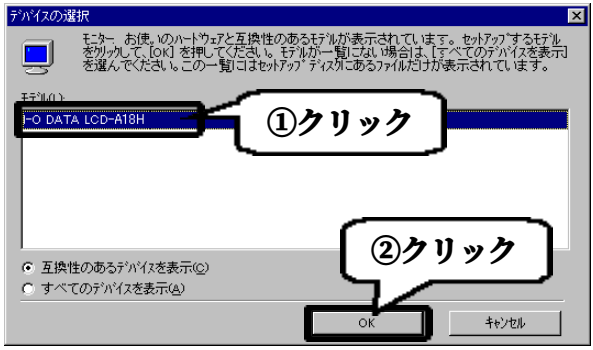
6　［配布ファイルのコピー元］でフロッピーディスクドライブのWIN9Xフォルダを指定し、［OK］ボタンをクリックします。

指定例）　A:\WIN9X　（フロッピーディスクドライブがAの場合）

PC-9821シリーズの場合は、[参照]ボタンをクリックしてフロッピーディスクドライブ名とフォルダ名（WIN9X）を指定し、[OK]ボタンをクリックします。



7 **［I-O DATA LCD-A18H］をクリックし、［OK］ボタンをクリックします。**



8 **あとは画面の指示に従い、［OK］ボタンをクリックします。**

以上でWindows 95 4.00.950 B/4.00.950 Cのインストールは終了です。
次ページの【確認しよう】にお進みください。

確認しよう

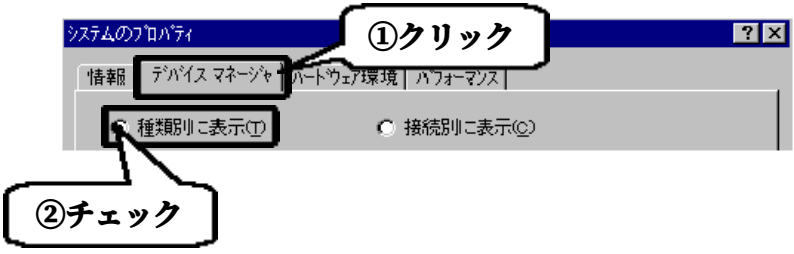
ここでは本製品がWindows Me/98/95で正常に認識されているかどうかを確認する方法について説明します。

本製品の正常認識確認（Windows Me/98/95）

1 ［システムのプロパティ］を開きます

［マイコンピュータ］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

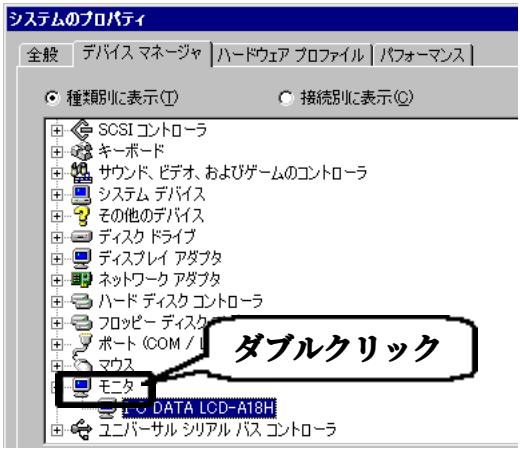
2 ［デバイスマネージャ］タブをクリックし、［種類別に表示］をチェックします。



PC98-NXシリーズをお使いで[デバイスマネージャ]タブが表示されない場合

1 ［スタート］→［プログラム］→［Cyber Trio-NX］（［NXユーティリティ］または［NXの設定］）→［Cyber Trio-NXセットアップ］を選択します。
2 ［アドバンスモード］にチェックし、Windowsを再起動します。
3 再度手順の *1* から行います。

3　［モニタ］をダブルクリックします。



4　本製品が正常に認識されていることを確認します。

[モニタ]下に［I-O DATA LCD-A18H］と表示されている場合は、正しく認識されています。

認識されていれば正常です。

本製品をお使いください。表示に異常がある場合は、47ページ【表示を調整するには】をご参照ください。

認識されていない → 再度サポートソフトのインストールを行ってください。（21ページ）

解像度・色数の変更は、デスクトップ上を右クリック→[プロパティ]→［画面のプロパティ］で行います。

Windows 2000でご使用の場合

ここでは本製品をWindows 2000で使用する際の方法を説明します。

本製品をWindows 2000以外のOSで使用する場合は、本章をお読みになる必要はありません。

インストールしよう（40ページ）

インストール手順について説明します。

↓

確認しよう（45ページ）

インストールおよび接続が正常かどうか確認します。

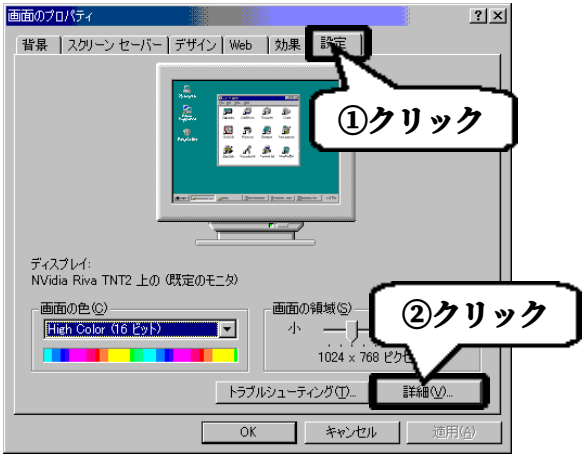
インストールしよう

ここではWindows 2000にサポートソフトをインストールする手順を説明します。

1　［画面のプロパティ］を表示します。

デスクトップ（壁紙部分）上で右クリックして、[プロパティ]を選びます。

2　［設定］タブをクリックし、[詳細]ボタンをクリックします。



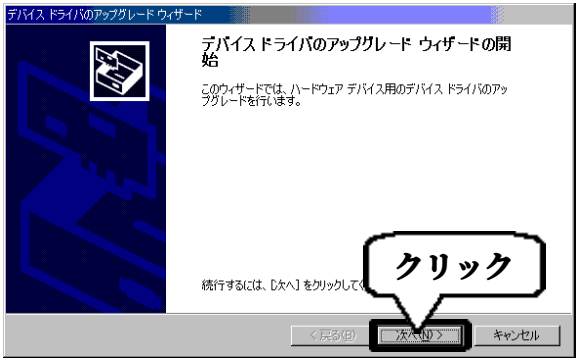
3　［モニタ］タブをクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。



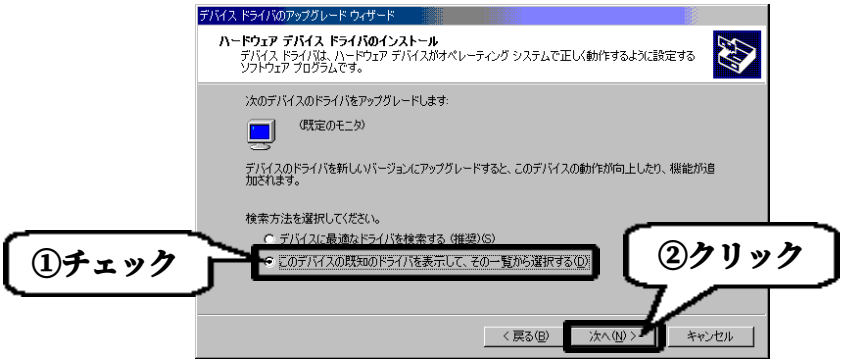
4 ［ドライバ]タブをクリックし、［ドライバの更新］ボタンをクリックします。



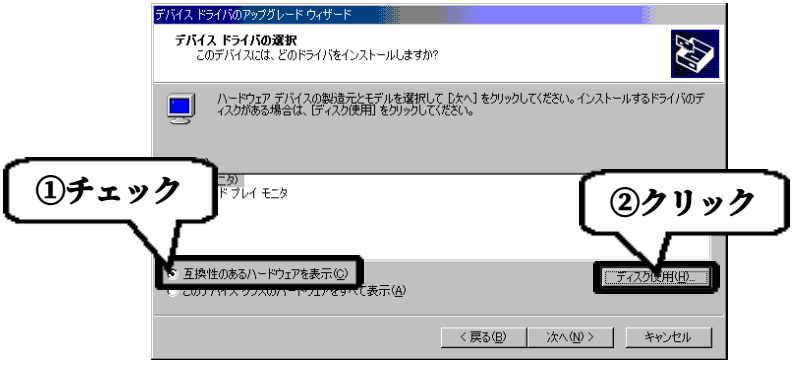
5 ［次へ］ボタンをクリックします。



6 ［このデバイスの…］をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



7 [互換性のある…]をチェックし、[ディスク使用]ボタンをクリックします。



8 **「LCD-A18Hサポートソフト」を挿入します。**

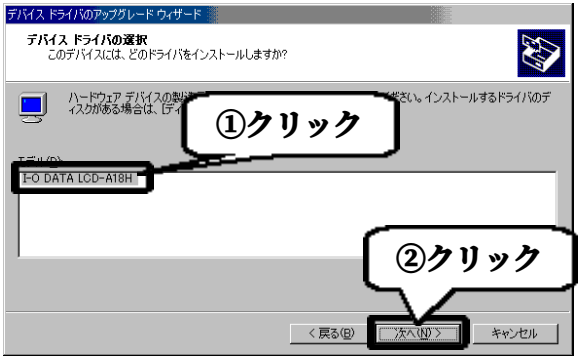
9 **［製造元のファイルのコピー元］でフロッピーディスクドライブのWIN2000フォルダを指定し、［OK］ボタンをクリックします。**

指定例） A:\WIN2000 （フロッピーディスクドライブがAの場合）

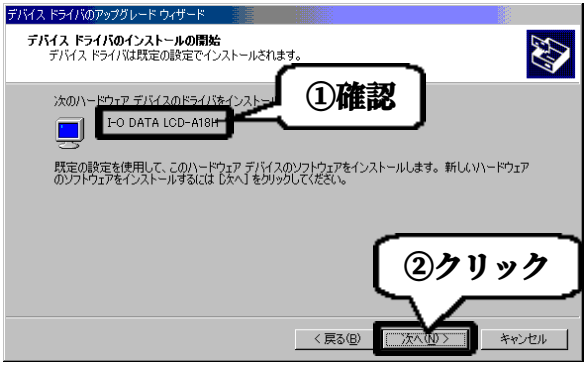
PC-9821シリーズの場合は、[参照]ボタンをクリックしてフロッピーディスクドライブ名とフォルダ名（WIN2000）を指定し、[OK]ボタンをクリックします。



10 **［I-O DATA LCD-A18H］をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。**



11 **モニタの種類を確認して、［次へ］ボタンをクリックします。**



12 **［完了］ボタンをクリックします。**

13 **［閉じる］ボタンをクリックします。**

手順 **3**の画面に戻るので、ディスプレイの種類が手順**10**で選択した型番になっていることを確認してから、[閉じる]ボタンをクリックします。

以上でWindows 2000のインストールは終了です。
次ページ【確認しよう】にお進みください。

確認しよう

ここでは本製品がWindows 2000で正常に認識されているかどうかを確認する方法について説明します。

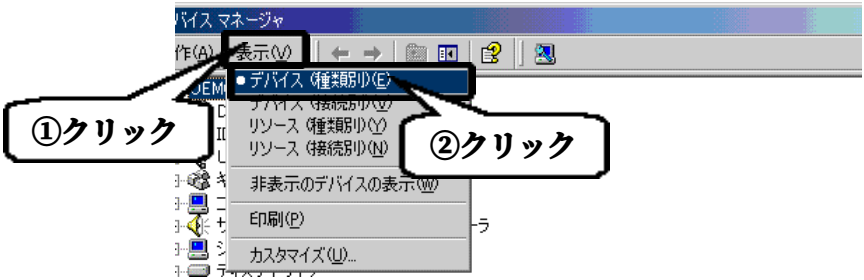
本製品の正常認識確認(Windows 2000)

1 **［システムのプロパティ］を開きます**

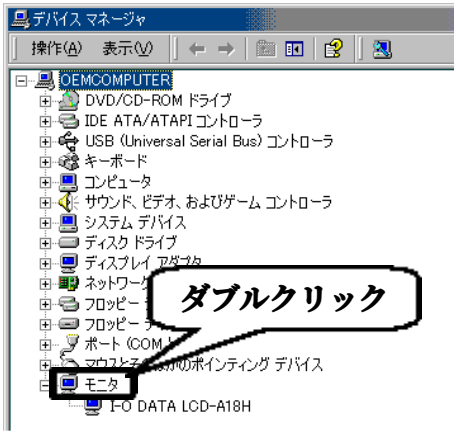
［マイコンピュータ］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

2 **［ハードウエア］タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。**

3 **［表示］→[デバイス（種類別）]をクリックします。**



4　［モニタ］をダブルクリックします。



5　本製品が正常に認識されていることを確認します。

[モニタ]下に［I-O DATA LCD-A18H］と表示されている場合は、正しく認識されています。

認識されていれば正常です。

本製品をお使いください。表示に異常がある場合は、次ページ【表示を調整するには】をご参照ください。

認識されていない → 再度サポートソフトのインストールを行ってください。（40ページ）

解像度・色数の変更は、［画面のプロパティ］で行います。
デスクトップ上を右クリックして、表示された［プロパティ］をクリックします。

表示を調整するには

ここでは液晶ディスプレイの表示調整機能を使って、さまざまな調整を行う方法を説明します。この調整機能は、液晶ディスプレイ自体が持っている機能ですので、パソコンの機種や、OSの種類等に関係なく利用できます。

表示に関する不具合は、ほとんどの場合液晶ディスプレイ前面の[Auto]ボタンを一回押すだけで改善されます。
また、本製品は工場出荷時に適正値に設定されておりますので、特に必要でない限り、画像を調整する必要はありません。

調整方法と調整可能項目（48ページ）

調整できる項目の概要とボタンの操作方法を説明します。

調整項目一覧（52ページ）

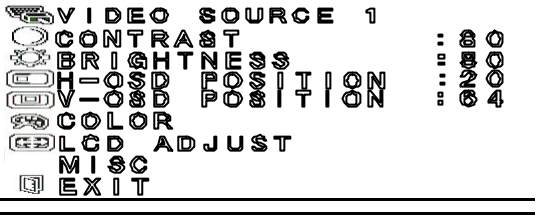
各調整項目の詳細内容を説明します。

調整方法と調整可能項目

本製品は画面に表示されるOSDメニューを見ながら、液晶ディスプレイ前面の4つのボタンを使ってすべての調整ができるようになっています。
ワンタッチで調整・設定できるものもあります。（51ページ参照）

ボタンの操作方法

1 **[Function]ボタンを押します。**
画面にメインメニューが表示されます。



2 **[▼Select]、[▲Select]ボタンを押して、設定変更したい項目を選択します。**
選択項目は緑色になります。

3 **[Function]ボタンを押します。**
緑色の部分が赤色になり、選択されたことを示します。

4 **[▼Select]、[▲Select]ボタンを押して、値を変更します。**
サブメニューが表示される場合は手順 *2*へ戻ります。
設定中は、設定内容がリアルタイムに反映されます。

5 **[Function]ボタンを押します。**

他の項目も設定変更したい場合は、手順 **2** へ戻ります。

6 **[▼Select]、[▲Select]ボタンで[EXIT]、[MAIN MENU]、もしくは[MISC]を選択します。**

7 **[Function]ボタンを押します。**

8 **[▼Select]、[▲Select]ボタンのいずれかを押します。**

9 **OSD表示が消えない場合は、手順 6 へ戻ります。**

・OSDメニューを表示したまま、約30秒程度一切の操作をしなかった場合、OSD表示は自動的に消えます。
・OSDメニューで設定した各値は、電源をOFFにしても、コンセントを抜いても、次回設定変更時まで保持されます。

こんな調整・設定が可能です

調整項目	補足	参照頁
パソコン画面の切り替え	パソコンを2台接続している場合に表示する方を設定します。	51、52
コントラスト調整	コントラストを調整します。	51、52
輝度調整	輝度（明るさ）を設定します。	52
パソコン画面の表示位置	パソコン画面がディスプレイよりはみだしている、または小さくなっている場合に調整します。	51、52
パソコン画面の縦横幅の調整	パソコン画面が細長くなっている場合等に調整します。18.1インチの大きさにぴったりと合わせることができます。	54
鮮明度調整	パソコン画面のグラフィック表示や、文字表示が見にくい場合に調整します。	54
OSDの表示位置	OSD表示の表示位置を調整します。	52
OSD背景の表示/非表示	OSD表示の背景を表示するか、表示しないかを設定できます。	55
OSD内の言語設定	OSD表示内の言語を設定します。	55

ワンタッチで出来る調整・設定

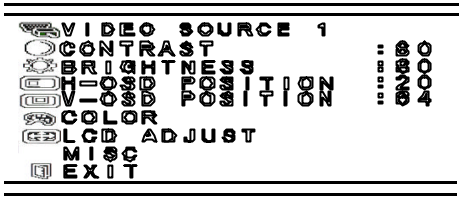
ボタンを一回押すだけで、設定できます。

調整項目	補足	使うボタン
パソコン画面の切り替え	パソコンを2台接続している場合に表示を切り替えます。	▼Select
コントラストの自動調整	コントラストを自動的に調整します。	▲Select
表示位置、輝度、コントラストの自動調整	パソコン画面の表示位置、輝度、コントラストを自動的に調整します。	Auto

調整項目一覧

メインメニュー

メインメニュー内の各項目について説明します。
（[Function]ボタンを押した際に一番初めに表示されるOSD表示です。）

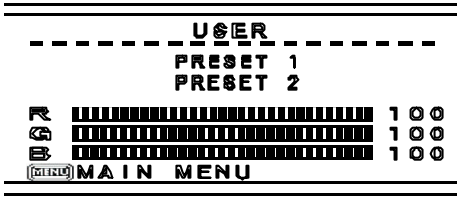


項目	機能
VIDEO SOURCE	「VIDEO1」、「VIDEO2」コネクタの両方を使用しているとき、（パソコンを2台接続しているとき）どちらの映像を表示させるかを切り替えます。
CONTRAST	コントラストを調整します。（初期値：80）
BRIGHTNESS	輝度を調整します。（初期値：80）
H-OSD POSITION	OSDの表示位置を横方向に調整します。（初期値：20）
V-OSD POSITION	OSDの表示位置を縦方向に調整します。（初期値：64）
COLOR	カラー調整します。（次ページ参照）
LCD ADJUST	・DOS/Vマシン、PC98-NXシリーズとMacintoshパソコンのうち、使用しているパソコンを指定します。 ・映像を横方向に縮小・拡大します。 ・横方向に映像の表示位置を調整します。 ・縦方向に映像の表示位置を調整します。 ・映像の焦点をコントロールし、鮮明度を調整します。 ・画像の位置とサイズを自動的に調整します。 （54ページ参照）

項目	機能
MISC	・OSDの背景を青か透明に設定します。 ・表示を滑らかにします。文字表示などが読みにくい場合に設定します。 ・現在の解像度、水平/垂直周波数を表示します。 ・OSD内の言語を設定します。 ・コントラストを自動的に調整します。 ・全ての設定を出荷時の状態に戻します。 （55ページ参照）
EXIT	OSD表示を消します。

カラー調整

メインメニューの[COLOR]を選択すると、カラー調整ができます。あらかじめ、調整済みの設定が2つ用意されています。

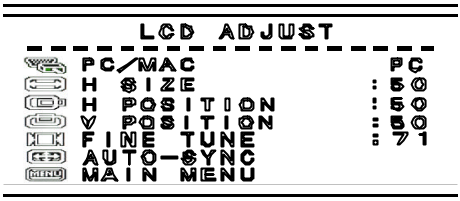


1番上の行に表示には、現在選択中の設定名が表示されています。

項目	機能
PRESET 1	明るめ（R:100、G:100、B:100）の設定にします。
PRESET 2	やや暗め（R:99、G:100、B:77）の設定にします。
R調整	赤の割合を調整します。（初期値：100）
G調整	緑の割合を調整します。（初期値：100）
B調整	青の割合を調整します。（初期値：100）
MAIN MENU	メインメニューを表示します。

LCD調整

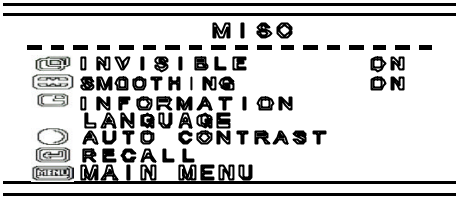
メインメニューの[LCD ADJUST]を選択すると、表示に関する様々な調整ができます。画面上の文字が見えにくい、一部の表示が画面からはみ出しているといった場合に使います。



項目	機能
PC/MAC	PC-9821シリーズ、DOS/Vマシン、もしくはPC98-NXシリーズをご使用の場合は[PC]に設定し、Macintoshパソコンをご使用の場合は、[MAC]に設定してください。 （この項目は、解像度を800×600に設定したPC-9821シリーズ、DOS/Vマシン、もしくはPC98-NXシリーズと、832×624に設定したMacintoshパソコンで、双方のリフレッシュレートが同じだった場合に、液晶ディスプレイが混同し、誤動作してしまうことを防ぐために設けられています。）
H SIZE	映像を横方向に拡大・縮小します。（初期値：50）
H POSITION	横方向に映像の表示位置を調整します。（初期値：50）
V POSITION	縦方向に映像の表示位置を調整します。（初期値：50）
FINE TUNE	映像の焦点をコントロールし、鮮明度を調整します。 （初期値：71）
AUTO-SYNC	画像の位置とサイズを自動的に調整します。
MAIN MENU	メインメニューを表示します。

その他調整

メインメニューの[MISC]を選択すると、OSD表示や画面表示等に関する様々な設定ができます。



項目	操作
INVISIBLE	OSDの背景を青か透明に設定します。 （初期設定：ON（背景は青））
SMOOTHING	表示を滑らかにします。 （初期設定：ON）
INFORMATION	現在の解像度、水平/垂直周波数を表示します。
LANGUAGE	OSD表示内での表示言語を設定します。 （初期設定：ENGLISH）
AUTO CONTRAST	コントラストを自動的に調整します。
RECALL	全ての設定を出荷時の状態に戻します。
MAIN MENU	メインメニューを表示します。

MEMO

付　録

困った時には（58ページ）
本製品を使用中に、トラブルがあったときにご覧ください。

用語解説（61ページ）
本書内の用語について説明します。

省電力モードにする（63ページ）
省電力モードについて説明します。

ハードウェア仕様（66ページ）
本製品の仕様について説明します。

困った時には

電源を入れた直後から画面に何も表示されない

原因１ **液晶ディスプレイの電源が入っていません**

本製品の電源が入っているか、また本製品の電源ランプが点灯しているかご確認ください。

原因２ **本製品が正しく取り付けられていません**

電源を切り、もう一度接続ケーブルとパソコン側のRGB出力コネクタの接続をやり直してください。

画像が小さい、または歪んでいる

原因１ **本製品が正しく取り付けられていません**

電源を切り、もう一度接続ケーブルとパソコン側のRGB出力コネクタの接続をやり直してください。

原因２ **本製品の解像度の範囲を超えています**

デスクトップを右クリック→[プロパティ]→[画面のプロパティ]で解像度の調整を行って見てください。

USBポートが使えない

原因１ ACケーブルがコンセントに接続されていない

USBハブは、本製品に電源が供給されていないと機能しません。コンセントはしっかりと接続してください。

原因２ USBケーブルが接続されていない

USBケーブルは接触不良のないように、しっかりと接続してください。

[NO SIGNAL]のOSD表示がでる

原因１ 映像信号が液晶ディスプレイに入力されていません

パソコン（グラフィックボード）から出力される映像信号（RGB信号）が、何らかの理由で液晶ディスプレイに入力されていません。

RGB接続ケーブルがしっかりと接続されているかご確認ください。

また、グラフィックボードに異常がないかご確認ください。

原因２ 「VIDEO SOURCE」の設定が間違っている

VIDEO 1コネクタ、VIDEO 2コネクタのいずれか一方にしか接続がない、あるいは両方に接続があっても、一方のパソコンの電源が入っていないなど、一方のコネクタに映像信号が入力されていない状況の場合で、「VIDEO SOURCE」がその入力されていないコネクタに設定されている可能性が考えられます。

この場合、「VIDEO SOURCE」は、しばらくすると自動的に映像信号のあるコネクタに切り替わります。

[OUT OF RANGE]のOSD表示がでる

原因

液晶ディスプレイにとって許容範囲外の解像度や、リフレッシュレートを設定した

解像度変更直後、このOSD表示がでたのであれば、「ESC」キーを押すことにより改善される場合があります。

Windowsでご使用なら、SAFEモードで起動し、改めて解像度を設定しなおしてください。

<Safe モードで起動するには？>

・Windows Me の場合

「F8」キーを押しながら起動し、表示されるメニューで[セーフモード]を選択します。

・Windows 98 の場合

「Windows 98」ロゴマークが表示される前に「F8」キーまたは「Ctrl」キーを押し、[Safe mode]を選択します。

・Windows 95 の場合

[Starting Windows 95]と表示されている間に「F8」キーを押し、[Safe mode]を選択します。

・Windows 2000 の場合

「F8」キーを押しながら起動し、表示されるメニューで[セーフモード]を選択します。

用語解説

DPMS(Display Power Management Signaling)

VESA（Video Electronics Standards Association）が策定した、ディスプレイの節電機構をパソコン本体側から制御するための規格。省電力機能は、ディスプレイのHSYNC／VSYNC（水平／垂直走査周波数）を制御することでReady、Standby、Suspend、Offの４つの節電レベルを可能とします。

OSD(On Screen Display)

ディスプレイの一部に設定値を表示しながら、設定が可能なディスプレイの機能。本製品では、OSDを使っていろいろな調整を行うことができます。

TFT(Thin Film Transfer liquid crystal)

アクティブ・マトリックス型液晶の一種。
液晶画面の各ドットは、薄膜トランジスタ(TFT)で制御します。現状、他の液晶技術（STN,DSTN等）に比べ、品質面では最も優れています。

インタレース表示

まず、画面の左上から奇数ラインだけを走査し、再び左上に戻り、今度は偶数ラインを走査するという走査方式です。
たとえば、1画面を表示ためには、電子ビームは2回走査しなくてはなりませんが、この走査方式の場合、走査周波数が低いため、ディスプレイの種類により画面がちらつく場合があります。あるいはディスプレイ自体が未対応のために、全く動作しない場合があります。

走査線周波数

ディスプレイはドットの集まりです。ディスプレイは左上から右下に向かって電子ビームで必要なドットを光らせて画像を表示しています。「走査する」とは、電子ビームが動く、つまり画像が表示されるという意味です。

走査周波数とは、ちょうど電子ビームの動く速さを示す「メトロノーム」のようなもので、走査周波数が高いほど電子ビームが速く動く、つまり画像表示が速いということになります。走査周波数を低くすると画面のちらつきが目立つようになります。逆に走査周波数を高くすると画面のチラツキは目立たなくなります。

ドット

文字や図形を表現する基本単位となる点のこと。ピクセルとも呼ばれます。パソコンで扱う文字や図形は、このドットの集まりで表現されます。

ドット抜け

TFTパネル等平面パネルは、非常に高度な技術を使用していますが、生産過程の諸条件により液晶格子の一部が上手く形成されない場合があります。現在の技術は99.99%以上の精度で液晶格子が形成されています。すべて完全な液晶格子を形成することは現在の技術水準でも難しいのが現状です。

ノンインタレース表示

画面の左上から右下まで１ラインごとに全ラインを１度に走査する走査方式です。１画面表示するのに１回の走査ですむ代わり、電子ビームを速く動かす必要があります。そのため、インタレース表示より高い周波数が必要になりますが、インタレース表示よりはチラツキが少なくなります。

省電力モードにする

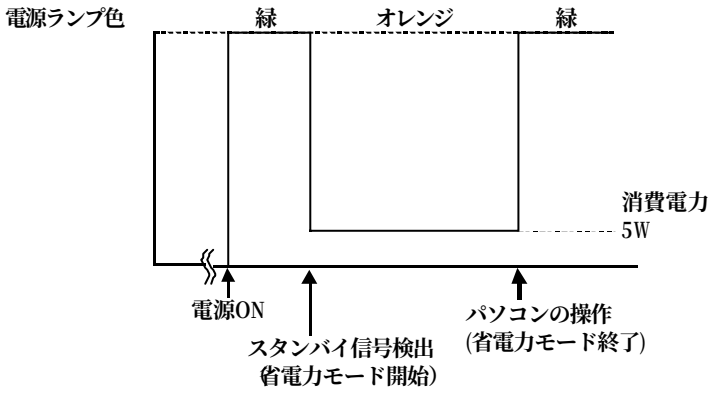
省電力モードを働かせるには、パソコン側で設定が必要です。本製品では、特に設定は必要ありません。
キーボードやマウスの操作をすると省電力モードから復帰します。なお、この機能はVESA DPMS規格に準拠しています。

・パソコンの設定

省電力モードを働かせるためには、お使いのパソコンにあった設定を行ってください。具体的な設定方法については、パソコンなどの取扱説明書をご覧ください。
なお、省電力モードを働かせるためには、グラフィックボードがVESA DPMSに対応している必要があります。

・VESA DPMS対応のディスプレイ省電力の流れ

グラフィックボードから出力される「On」、「Standby」、「Suspend」、「Off」の4種類の信号の変化をディスプレイが検出して、省電力モードに入ったり、復帰したりします。



※本製品では「スタンバイ」、「サスペンド」、「オフ」のうちいずれかの信号を認知した場合でも省電力モードに入ります。

※省電力モードとは・・・
一定時間パソコンを操作しなかった場合に、自動的にディスプレイの消費電力を抑える機能のことです。省電力モード時は画面は真暗になります。

※国際エネルギースタープログラムについて・・・
コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意の制度となっており、対象製品及びそれぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

「弊社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。」

省電力モードの設定方法です。ご参考ください。（詳細については、各Windowsの取扱説明書をご覧ください。）

《Windows Me/98/95での設定方法》

① デスクトップ上で右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

② Windows Me/98の場合

［設定］タブ→［詳細］ボタン→［モニタ］タブの順にクリックします。

Windows 95 4.00.950/4.00.950aの場合

［ディスプレイの詳細］タブ→［ディスプレイの変更］ボタンの順にクリックします。

Windows 95 4.00.950 B/4.00.950 Cの場合

［ディスプレイの詳細］タブ→［詳細プロパティ］ボタン→［モニター］タブの順にクリックします。

③ [省電力モニタ]をチェックします。

④ [OK]ボタンをクリックします。

⑤ [スクリーンセーバー]タブをクリックします。

⑥ [ディスプレイの省電力機能]を設定します。

⑦ [OK]ボタンをクリックします。

《Windows 2000での設定方法》

① [マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[電源オプション]を開きます。

② [電源設定]タブを開きます。

③ [モニタの電源を切る]で省電力になるまでの時間を設定します。

ハードウェア仕様

■基本仕様

・液晶ディスプレイ

パネルタイプ	TFT18.1インチ
表示面積	359.0×287.2（㎜）
最大表示解像度	1280×1024ドット
画素ピッチ（H×V）	0.2805×0.2805（㎜）
表示色	1677万色
視野角度	上:70° 下:40° 右:70° 左:70°
チルト角	上:20° 下: 5°
スイベル角	左:45° 右:45°
最大輝度	200cd/m^2
コントラスト	300:1
応答速度	45ms
入力信号	アナログRGB
外形寸法（W×D×H）	450×245×455（㎜）
質量	10.4Kg
使用温度条件	動作時：0℃～+40℃ 収納時：-20℃～+60℃
使用湿度条件	20%～80%（結露なきこと）
定格電圧	AC100V
消費電力	通常時：最大65W 省電力時：最大5W
パワー マネージメント	VESA DPMS互換
バックライト寿命	約30,000時間
その他	VESAマウントインターフェイス規格準拠

※ 液晶ディスプレイ上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある場合がありますが、故障あるいは不良ではありません。ご了承ください。

・USBハブ

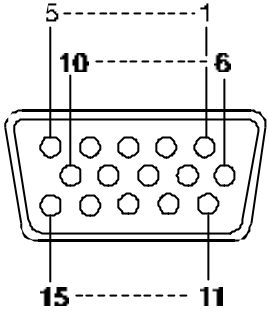
インターフェイス規格		USB仕様Ver 1.1
インターフェイス	通信速度	12Mbps/1.5Mbps
	コネクタ	ダウンストリーム用コネクタ×4 アップストリーム用コネクタ×1
消費電流（セルフパワー時）		各ポート 最大500mA

■対応信号タイミング

表示モード	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数(Hz)
Windows Power Macintosh G4 シリーズ	640×400	31.3	70.0
	640×480	31.5	59.9
		37.9	72.8
		37.5	75.0
	800×600	35.2	56.3
		37.9	60.3
		48.1	72.2
		46.9	75.0
	1024×768	48.4	60.0
		56.5	70.1
		58.0	71.9
		60.0	75.0
	1280×1024	64.0	60.0
		80.0	75.0
英語テキストモード	720×400	31.5	70.1
Power Macintosh	640×480	35.0	66.7
	832×624	49.7	74.5
	1024×768	60.2	74.9

※パソコンからの信号は全てノンインタレースであること。
※DB-15型コネクタ搭載のPower Macintoshシリーズでご使用の場合は、別途市販のMacintosh用接続変換コネクタが必要になります。
※表示解像度、表示色数は接続するグラフィックボードによって異なります。
※1280×1024未満の解像度の場合は、拡大表示します。

■アナログコネクタ形状・ピンアサイン



D-Sub15ピンコネクタ

ピン番号	内容
1	赤映像信号入力
2	緑映像信号入力
3	青映像信号入力
4	GND
5	GND
6	赤映像信号用GND
7	緑映像信号用GND
8	青映像信号用GND
9	N.C
10	同期信号用GND
11	N.C
12	DDCシリアルデータ
13	水平同期信号用入力
14	垂直同期信号用入力
15	DDCシリアルクロック

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及び FAX 番号
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアル No.
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用の OS とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/support/
「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを使用して
E_Mail をお送りください。
@nifty　アイ・オー・データステーション (SIODATA) サポート会議室

■郵便

〒920-8513　石川県金沢市桜田町2 丁目84 番地 アイ・オー・データ第2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「LCD-A18H」係　宛

■電話

電話番号　本社　076-260-3646
東京　03-3254-1036
受付時間　9:30 ～19:00 月～金曜日 (祝祭日を除く)

■FAX

FAX 番号　本社　076-260-3360
東京　03-3254-9055
宛先　株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「LCD-A18H」係　宛

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

保証について

■保証期間

・保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。お送りいただいた製品を検査後、有償となる場合のみ往復ハガキにて修理金額をご案内致しますので、修理するか否かをご検討の上、往復ハガキにご記入いただきご返送ください。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。

・弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

・本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。

・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。

・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/　→　「サポート・ライブラリ」
@nifty　アイ・オー・データステーション（IODATA）のライブラリ

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2 丁目84 番地
アイ・オー・データ第2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「LCD-A18H」　サービス窓口　宛
電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30 ～12 :00　13:00 ～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送り下さい。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  - ◇ 保証書がない場合
  - ◇ 保証書の所定事項が未記入の場合
  - ◇ 電源 ON で挿入、抜去、逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  - ◇ 落雷などの事故による破損の場合
  - ◇ 本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

■修理品送付先

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町2 丁目84 番地 アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
『LCD-A18H」 修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、宅配便または書留郵便小包でのご送付をお願いいたします。

■修理品納期問い合わせについて

受付窓口　『LCD-A18H」 サービス窓口
電話番号　金沢 076-260-3663
受付時間　9:30 ～12:00 13:00 ～17:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。